

■事業名

地域の宝ブラッシュアップ事業

■事業目的

石峠の山城遺構など、入東谷地域にある地域資源を観光資源としてブラッシュアップし、交流人口の拡大につなげる。

入東谷地区の6集落が連携して事業に取り組むことによって、入東谷地域全体の活性化を目指す。

■活動経過・内容

【実施主体】 入東谷活性化プロジェクト

【内 容】 栗山沢の国道（R290）から旧石峠街道へ登る散策ルートを整備し、松尾側から松尾城・栗山沢大地蔵様へ続く散策ルートに繋ぐことにより、平成29年度から整備を進めてきた散策ルートの周遊コース化を図った。

街道整備後、今年度整備した散策道を巡る秋の散策ツアーを開催。

街道整備：6月～10月 除草作業、雑木伐採作業、重機整備作業

標識の設置：国道沿いの石峠街道入口と散策ルートの合流箇所に案内標識を設置

散策ツアー：10月27日（日）市民対象に散策ツアーを開催 参加者38名

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・散策ツアーは雨模様だったが参加者は多かった。9時に街道の大石からの狼煙を合図にスタートし、自然豊かな古道と山城遺構の散策を楽しんだ後、栗山沢集落センターで昼食会を行い、親睦を深めることができた。毎年参加の方もいた。
- ・今年度は、散策ルートの周遊コース化の目標に向かって集落間の連携と協力で事業が進められたことによって、入東谷地域全体の連帯感が強まった。

■今後の課題

- ・今後、旧石峠街道の除草作業、案内標識等の維持管理の仕方について、どのように継続していくか入東谷集落で検討して行く必要がある。
- ・次年度は、周遊コース化した旧石峠街道を地域資源としてPRし、交流人口の拡大につなげるため栃尾観光協会のホームページに掲載するリーフレット作成に取り組んで行く。



令和元年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業活動報告書

■事業名

子どもの健康づくり推進事業

■事業目的

現代の子育ては、少子化、インターネットの普及、家族形態の変化などから大きく環境が変わってきている。その中で保護者から「子どもにどのように関わり、声をかけたら良いかわからない」という声を聞き、子どもとの関わり方に悩む保護者が多い。

栃尾地域の子どもたちが、将来自立した大人に成長するために、保護者としてどう向き合えば良いかを講演と参加者同士の意見交換によって学ぶ機会とする。

また、家庭と学校、地域とが連携し、地域全体で子育てを支援する。

■活動経過・内容

【実施主体】 長岡市栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会

【内 容】 心理学をもとに、思春期を中心とした子どもとの関わり方をテーマとした講演会を開催。講演会後半にグループワークを実施。子育ての悩みや質問を出してもらい、講師からアドバイスを受けた。

講演会日時：令和元年6月22日（土） 午前10時～正午

会 場：栃尾産業交流センターおりなす てまりホール

講 師：東京成徳大学大学院教授 田村節子

講演テーマ：子育てが楽しくなるための「XとYの法則」

参 加 者：約164人

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・アンケートの結果、「また講演会を開催して欲しい」「子どもの話しをよく聞くことを実践したい」「子どもが自立できるように見守りたい」といった具体的な意見を聞くことができ、講演会の内容について大変好評だった。
- ・栃尾地域の子育てに関わる関係者が一緒に学ぶことで、共通認識をもって子どもに関わり、子育てを支援していくことができる。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・保護者と学校や地域の関係者がつながり、地域全体で子育てを支援する地域づくりを推進して行く。
- ・講演会を聞く機会が少ないため、今後も継続して開催に取り組んで行く。



令和元年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業活動報告書

■事業名

地域と若者との交流促進事業

■事業目的

地域の将来を担う高校生に地域への愛着を深めてもらうとともに、地域住民にも地元栃尾高校の活動に対する理解を深めてもらうため、栃尾高校生と地域住民との交流を促進することを目的とする。

■活動経過・内容

【委 託 先】 NKS・TRC共同事業体

【内 容】 栃尾高校生の企画運営による書道パフォーマンスや体験型模擬店などの出張文化祭「来て！見て！作って！体験フェスティバル 2019」を開催

日 時：令和元年8月9日（金） 午後1時～4時

会 場：長岡市栃尾文化センター

来場者数：一般来場者 延べ 384 人

スタッフ：栃尾高校生及び先生 85 人、造形大ボランティア 2 名、
地域おこし協力隊 1 名

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・夏休み中の開催で地域住民や他地域の方の来場もあり、栃高生の活動を広く知ってもらうことができた。また、高校生の地域への愛着を醸成することができた。
- ・栃尾高校生企画・運営によるこの継続事業が文部科学省に認められ、昨年度、栃尾高校がキャリア教育優良校文部科学大臣賞を受賞したこともあり、栃尾高校の活動と事業の取組みをPRできた。
- ・継続事業でマンネリ化しないよう毎年、イベントのブースに変化を持たせ企画している。今年度は、新しい試みとして音楽部のリコーダー演奏を取り入れ好評だった。



令和元年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業活動報告書

■事業名

大人の自由研究事業

■事業目的

栃尾地域の各地区には、かつては小学校や中学校があり、地域の住民同士が交流する場所のひとつであった。社会的な少子化に伴い閉校する学校も増える中、栃尾地域においては、近年、旧西谷小学校と旧中野俣小学校の2校が閉校している。

閉校した学校の利活用について、地域の中からも声が聞かれるが、過疎高齢化の進んでいる地域であることから、住民自らが新たな活動をすることは難しい。

廃校校舎を活用して、地域内外の個人や団体の活動、コレクション、制作物等を表現する場としてイベントを開催することによって、地域資源として新たな活用方法を見出す。

■活動経過・内容

【実施主体】 とちラボ

【内 容】 旧西谷小学校の廃校校舎を活用して、成人が「自由なテーマ」で制作物やコレクションの展示イベントを開催する。知識や技術を得た大人だからできる自由な発想を表現する。

会 場：旧西谷小学校（長岡市中 1426 番地）

オープニングイベント：8月11日（日） 午後0時30分開始

「ライブ IN 旧西谷小学校体育館」

ジャンルフリーな出演者によるステージパフォーマンスを開催

展示イベント期間：令和元年8月11日（日）～18日（日）

午前10時～午後4時

来場者数：延べ650人

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・栃尾地域には、木工、絵画、陶芸、イラストなどの制作活動を行う個人・団体が多くいるが、作品を展示する機会や場所がないという現状であり、閉校した校舎を活用して展示・発信する機会ができた。
- ・イベントの開催によって「地域で暮らす人と地域外の人との交流」「地域で暮らす人同士の交流」「出展者同士の交流」につながった。
- ・展示期間中は、毎日50名以上の来場があり、栃尾地域内外からの家族連れや夫婦、友達同士など様々な世代の来場があった。
- ・来場者は特に、西谷地区出身者が多く、校舎を見て回り懐かしむ姿が見られた。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・来場者から「綺麗なのに使われていないのはもったいない」「来年も開催してほしい

令和元年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業活動報告書

い」といった意見があった。

また、出展者から「グラウンドを使った展示をしたい」「教室をアトリエにした
い」という意見もあった。

- ・今回はできなかったが、地元住民の中から野菜などの物販をしたいという意見があ
った。人が集まる機会が生まれると地域内に小規模なコミュニティビジネスが生ま
れる可能性があると感じた。



令和元年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業活動報告書

■事業名

親子で挑戦！小学生道院自然体験塾事業

■事業目的

少子化や地域コミュニティの希薄化によって、子どもたちが自由に外で遊ぶ機会が少なくなっている。自然の中で親子、子ども同士が体験や活動を通じて得られる自信や達成感を醸成するため、道院高原の大自然を活用して、小学生親子の自然体験塾を開催する。

また、栃尾地域の観光資源である道院高原を気軽に訪れてもらえるように地域内外にPRする。

■活動経過・内容

【実施主体】 道院高原交流イベント実行委員会

【内 容】 道院高原を会場に地元のアウトドア講師を招き、親子で協力して体験できるイベントを3回実施

第1回 6月23日（日）参加者11名（4組）

ホテル講習、バームクーヘン作り体験、ウォークラリー

第2回 7月28日（日）参加者14名（5組）

ステンドグラス作り体験、木工工作体験、カヌー体験（雨天中止）

第3回 8月4日（日）参加者18名（6組）

じゃがいも掘り体験、カヌー体験、野菜バーベキュー

■効果・課題

自然体験塾を3回開催し、参加者は各回ごとに親子20組（120名）を予定していたが、参加者は43名だった。雨天により第2回のカヌー体験の中止があったが、参加した親子からは、豊かな自然の中でいろいろな体験学習ができたことが好評だった。このほかにも、初めて道院高原を訪れた参加者も多く「また道院高原に来たい」「自然がきれいで楽しかった」「知り合いを誘ってまた来たい」といった回答をいただいた。これらの意見がSNS等で広まることに期待したい。



令和元年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業活動報告書

■事業名

トチオノアカリ支援事業

■事業目的

栃尾の中学生のアイデアから生まれ、栃尾の若者の手によって実現された「とちお夜のランプまつり」は、「秋葉百八風鈴灯」などのほかのイベントとの同時開催により「トチオノアカリ」として大イベントに成長した。

この新たな栃尾の魅力の一つとなった「トチオノアカリ」を継続して実施できるよう支援し、交流人口のさらなる拡大を図る。

■活動経過・内容

【実施主体】 トチオノアカリ協議会

【内 容】

- 「とちお夜のランプまつり」と「秋葉百八風鈴灯」を一つに統合したイベント「トチオノアカリ」を開催し、秋葉門前ナイトマルシェを同時開催
日時：令和元年9月28・29日（土・日） 午後5時点灯開始～午後9時
来場者数：延べ約8,000人
- トチオノアカリグッズを販売
トチオノアカリTシャツ、トチオノアカリ酒、糸繰ランプを「とちパル」で販売
- 他地域のアカリイベント「越後みしま竹あかり街道」（長岡市）、「たんねのあかり」（柏崎市）を招致し、秋葉公園に展示
- ステージイベントを開催
二日間、常安寺の堂内で県内出身者等のアーティストによるコンサートを開催
- 「#トチオノアカリ」で *instaguram* に投稿するだけで参加できるトチオノアカリフォトコンテストを同時開催し、応募数185件の中から入賞作品を選定
入賞：大賞1点、金賞1点、銀賞2点、会長賞1点
(入賞者は長岡市の方3名、新潟市の方2名)

■事業実施の効果(実施のメリット)

- ・スタンプラリー参加者やフォトコンテストの応募者を見ると近隣市町村だけでなく新潟市や上越市といった県内からの来場もあり、認知度が高まってきている。
- ・トチオノアカリと他地域のアカリイベントのコラボレーションを実現した。これをきっかけに10月26日開催の「越後みしま竹あかり街道」にトチオノアカリを展示することに繋がった。

■今後の課題や、事業の拡大

- ・ステージイベントは、両日ともに会場に入りきらないぐらい盛況であったが、ステージ目当ての来場者から、街なかを見て回ってもらうための工夫が必要である。

トチオノアカリ 2019

【準備】

谷内通り



秋葉神社（刈谷田中学校）



参道（新潟工科大学）



【開催風景】

谷内通り



協賛ランプ（双葉保育園横）



たんねのあかり（秋葉公園）



みしま竹あかり（秋葉公園）



小学生+刈谷田中（秋葉神社外）



小学生+秋葉中（秋葉神社内）



栃高美術部+書道部（郵便局）



谷内お休み処（キッズサポートつむぎ）



栃尾文化センター（観音寺）



とちラボ（西厳寺）



駄菓子屋（よってげ場）



ナイトマルシェ（にぎわい広場）



【ステージイベント】

28日（土）ひなた、rafvery、嘉瀬遙



29日（日）TWE Bigband（常安寺）



令和元年度 長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業活動報告書

■事業名

守門大岳紅葉登山ツアー事業

■事業目的

栃尾の観光資源である守門岳、その麓の道院高原を活用し、栃尾地域の自然の魅力をPRするとともに交流人口の拡大を図るため、二日間の日程で親子で楽しめるアウトドア体験イベントを実施する。

■活動経過・内容

【実施主体】 道院高原交流イベント実行委員会

【内 容】 栃尾山岳会や石井スポーツ、地元団体と打ち合わせを重ね、二日間の日程で事業を予定したが、大型台風19号がイベント当日に県内に一番接近するという気象情報から、お客様とスタッフの安全を考慮してイベント中止を決定した。

(予定していたイベント)

- 10月13日(日):親子で楽しめる道院高原の自然を活かしたツリークライミングや山ご飯キッチンなど、各種体験会と登山講師による山の危機対策講座
- 10月14日(月・祝):地元山岳会と連携した守門大岳登山(保久礼コース)

■効果・課題

- ・チラシ・ポスターを各関係機関と長岡市の全小学校に配布し、石井スポーツ登山学校HPからも募集するなど、地域内外に道院高原や守門岳を活用した事業をPRすることができた。
- ・山岳関係者と連携して計画した事業を基に、道院高原に常設できる新しいメニュー作りやイベント開催の検討資料として活用する。

守門大岳紅葉登山ツアー 保久礼コース
10月14日(月・祝) 8時30分～16時

参加費 大人1500円(小学生以下1000円) ※小学生以下は保護者同伴
募集人数 100名 ※先着順で定員に達した時点で募集終了となります。

申込方法 電話またはメールにてお申し込みください。
電話:025-238-2621
Eメール:info@shimoda.net

申込締切 10月14日(祝) 15時

長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業
守門大岳紅葉登山ツアー & 道院高原 オートキャンプフェス

10月13日(日) イベントスケジュール
10月14日(月・祝) 守門大岳登山ツアー(保久礼コース)

参加費 大人1500円 子ども1000円

10月13日(日) イベントスケジュール
10時～12時 ツリークライミング
12時～15時 山ご飯キッチン
15時～18時 道の駅 道の駅 道の駅

10月14日(月・祝) 守門大岳登山ツアー(保久礼コース)
8時30分集合 守門大岳登山(保久礼コース)
16時下山 下山後 道の駅 道の駅 道の駅

事業の収支決算書(R2.2.10現在)

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比 較	内 訳
1 補助金	3,505,000	3,505,000	-	地域の宝磨き上げ事業補助金 (ふるさと創生基金事業)
2 雑 入	-	2	2	預金利息
合 計	3,505,000	3,505,002	2	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	比 較	内 訳
1 とちお魅力アップ作戦	1,860,000	1,475,401	384,599	
(1)地域の宝ブラッシュアップ事業	500,000	500,000	-	助成金
(2)子どもの健康づくり推進事業	450,000	326,582	123,418	助成金
(3)地域と若者との交流促進事業	380,000	380,000	-	委託料
(4)大人の自由研究事業	530,000	268,819	261,181	助成金
2 リピーター倍増作戦	1,500,000	994,620	505,380	
(1)親子で挑戦！小学生道院自然体験塾事業	300,000	228,720	71,280	助成金
(2)トチオノアカリ支援事業	700,000	700,000	-	助成金
(3)守門大岳紅葉登山ツアー事業	500,000	65,900	434,100	助成金
3 実行委員会運営費	145,000	72,000	73,000	実行委員謝金(4回分)
合 計	3,505,000	2,542,021	962,979	

収入 **3,505,002円** - 支出 2,542,021円 = **962,981円** 返還額

令和元年度 ふるさと創生基金事業 事業別決算内訳書

1 とちお魅力アップ作戦

	事業名	決算内訳(単位:円)	
(1)	地域の宝ブラッシュアップ事業 実施主体: 入東谷活性化プロジェクト	重機借上料	216,000
		借上料(刈払い機)	195,000
		雑木伐採委託料	45,360
		看板作成費	27,000
		飲み物代	8,960
		燃料費	7,100
		消耗品費	2,980
		保険料	1,660
		合計	504,060
		(助成金)	500,000
(自主財源)	4,060		
(2)	子どもの健康づくり推進事業 実施主体: 長岡市栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会	講師謝金(旅費込み)	261,676
		チラシ印刷	42,120
		消耗品費	20,626
		振込手数料	2,160
		合計	326,582
		(助成金)	326,582
(3)	地域と若者との交流促進事業 実施主体: NKS・TRC共同事業体 (栃尾文化センター指定管理者)	材料費	279,838
		食糧費	42,500
		チラシ印刷	28,470
		消耗品費	13,541
		交通費(バス・タクシー)	9,640
		保険料	4,000
		郵送料	1,108
		振込手数料	954
		合計	380,051
		(委託料)	380,000
(自主財源)	51		
(4)	大人の自由研究事業 実施主体:とちラボ	ポスター・チラシ印刷	151,620
		消耗品費	77,038
		保険料	24,420
		ごみ処分料	10,800
		飲み物代	3,996
		光熱水費	945
		合計	268,819

2 リピーター倍増作戦

	事業名	決算内訳(単位:円)	
(1)	親子で挑戦!小学生道院自然体験塾事業 実施主体: 道院高原交流イベント実行委員会	講師謝金	110,000
		チラシ印刷	40,000
		材料費	34,900
		使用料	32,400
		消耗品費	17,020
		食糧費	12,900
		保険料	3,000
		合計	250,220
		(助成金)	228,720
		(参加費)	21,500
(2)	トチオノアカリ支援事業 実施主体: トチオノアカリ協議会	消耗品費	455,155
		ステージイベント	185,430
		原材料費	172,750
		広告費	99,228
		保険料	34,630
		制作委託料	30,000
		ごみ処分料	22,440
		車両借上げ料	10,000
		道路占用料	7,858
		郵送料	2,760
合計	1,020,251		
(助成金)	700,000		
(協賛金等)	320,251		
(3)	守門大岳紅葉登山ツアー事業 実施主体: 道院高原交流イベント実行委員会 ※台風19号により中止	チラシ印刷	47,520
		材料費	17,280
		振込手数料	1,100
		合計	65,900